

2024年3月期 第1四半期決算説明資料

株式会社日本動物高度医療センター（東証グロース：6039）

2023年8月3日



当社のMission 「私たちの使命」

動物医療業界のリーディングカンパニーとしてさらに加速して事業強化を図っていくため、コーポレートアイデンティティをリニューアル。
かかりつけ医など動物医療業界のステークホルダーとひとつになって、Missionに向き合っていきます。

Mission

動物医療の「できない」をなくし、
動物とともに生きる人の希望になる。

創業時の基本理念である
人材育成・臨床研究・高度医療は、
二次診療病院の3つの柱として残している

今後は上記Missionをもとに、事業推進・広報活動・製品開発などを行っていく

■ 2024年3月期第1四半期は、売上は前年同期比若干増収も利益は減少

<ポイント>

- ・川崎本院の放射線治療を4月～6月に休止（治療器を最新機種に入替えのため）
- ・眼科の新規患者受入れを4月に停止（眼科を6月に廃止）
- ・6月1日の大阪病院開院の準備のため既存病院の一部診療スタッフの稼働が低下
- ・大阪病院開院のため経費が増加（消耗品 他）

■ 6月1日開院した大阪病院の立ち上がりは順調

- ・開院後診療数は当初想定を上回る
- ・近畿地区を中心に連携病院数は増加
- ・開院以降営業活動（一次診療施設訪問、セミナー実施等）を活発化。一層の診療数増加を図り、早期の黒字化を目指す

■ 以上は当初より想定していたものであり、通期の業績予想の変更は不要と判断

2024年3月期第1四半期 決算サマリー

(百万円)	2023/3期			2024/3期				
	1Q実績	進捗率	通期実績	1Q実績	前年同期比		進捗率	通期計画
売上高	934	24.1%	3,872	951	+16	+1.8%	23.0%	4,140
二次診療サービス	626	24.1%	2,594	635	+9	+1.4%	-	-
画像診断サービス	112	23.7%	472	123	+11	+10.6%	-	-
健康管理機器レンタル・販売サービス	193	25.0%	774	190	▲2	▲1.4%	-	-
売上原価 + 販管費	800	-	-	914	+113	+14.2%	大阪病院開院に伴い コストが上昇 (89百万円)	
営業利益	134	75.3%	439	37	▲96	▲71.9%	6.8%	555
経常利益	131	75.3%	438	33	▲97	▲74.6%	5.9%	565
親会社株式に帰属する 四半期純利益	87	78.0%	286	18	▲69	▲79.4%	4.7%	385
1株当たり 四半期純利益	37.5円	-	120.9円	6.5円	▲30.9円	▲82.5%	-	140.5円

① 大阪病院における業務領域の拡大

- 放射線治療棟の増築と放射線治療機器の購入（400百万円）
- 放射線治療は、外科手術や化学療法に比べて患者動物への負担が少ない治療法としてニーズが高まっているが、近畿地区では動物の放射線治療を行える施設が限定的

⇒診療開始に向けて準備が進行中

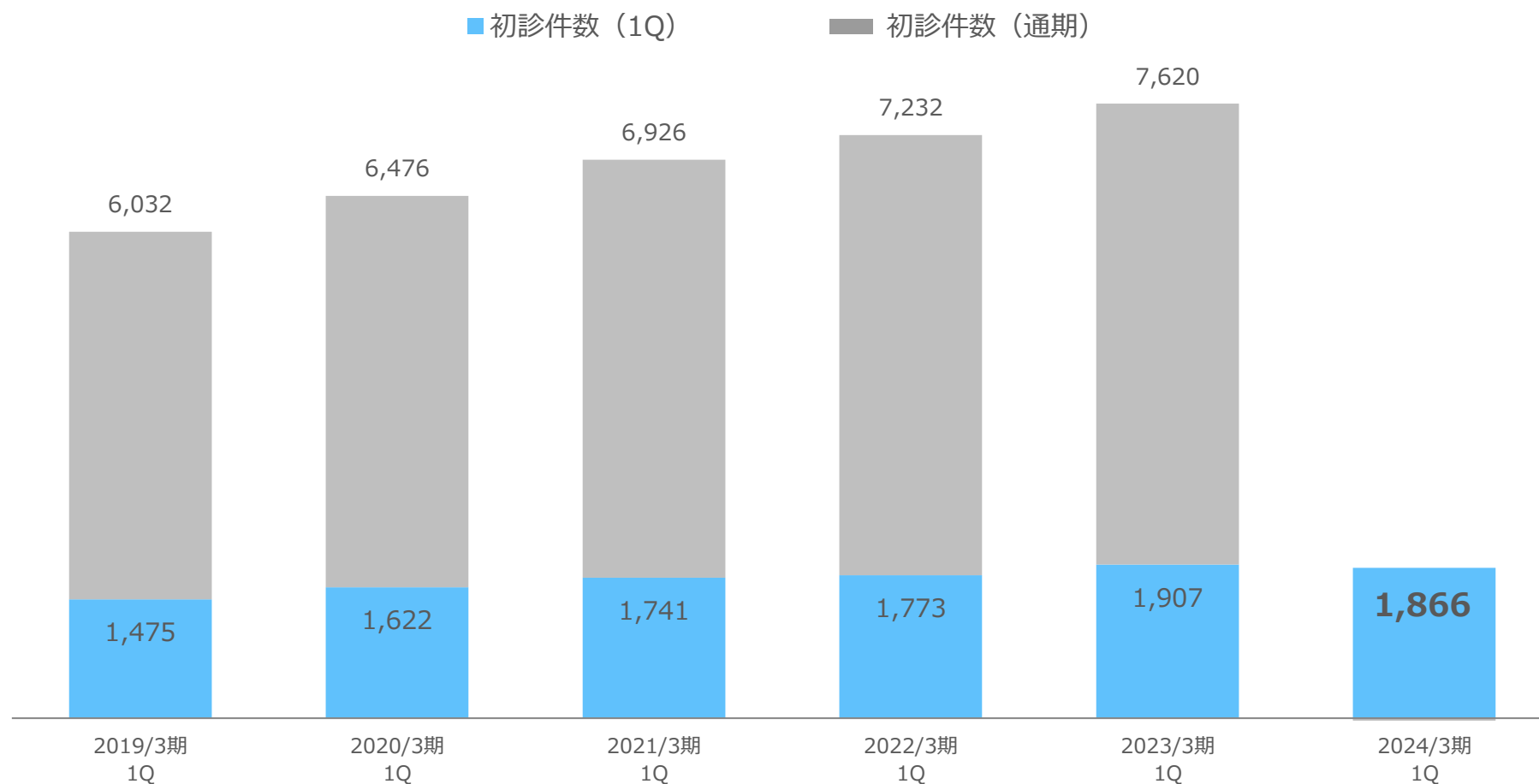
② 新病院の土地取得

- 全国的な動物高度医療ニーズの高まりに伴う、迅速な他地域への病院建設のための土地取得（373百万円／不足分は自己資金等で賄う予定）
- 当社のビジネスモデルは、病院数の増加に伴う売上増が大きく利益に寄与するため、より迅速な新地域での新病院設立が企業価値向上に貢献する

⇒早期の新病院開院に向けて物件選定中

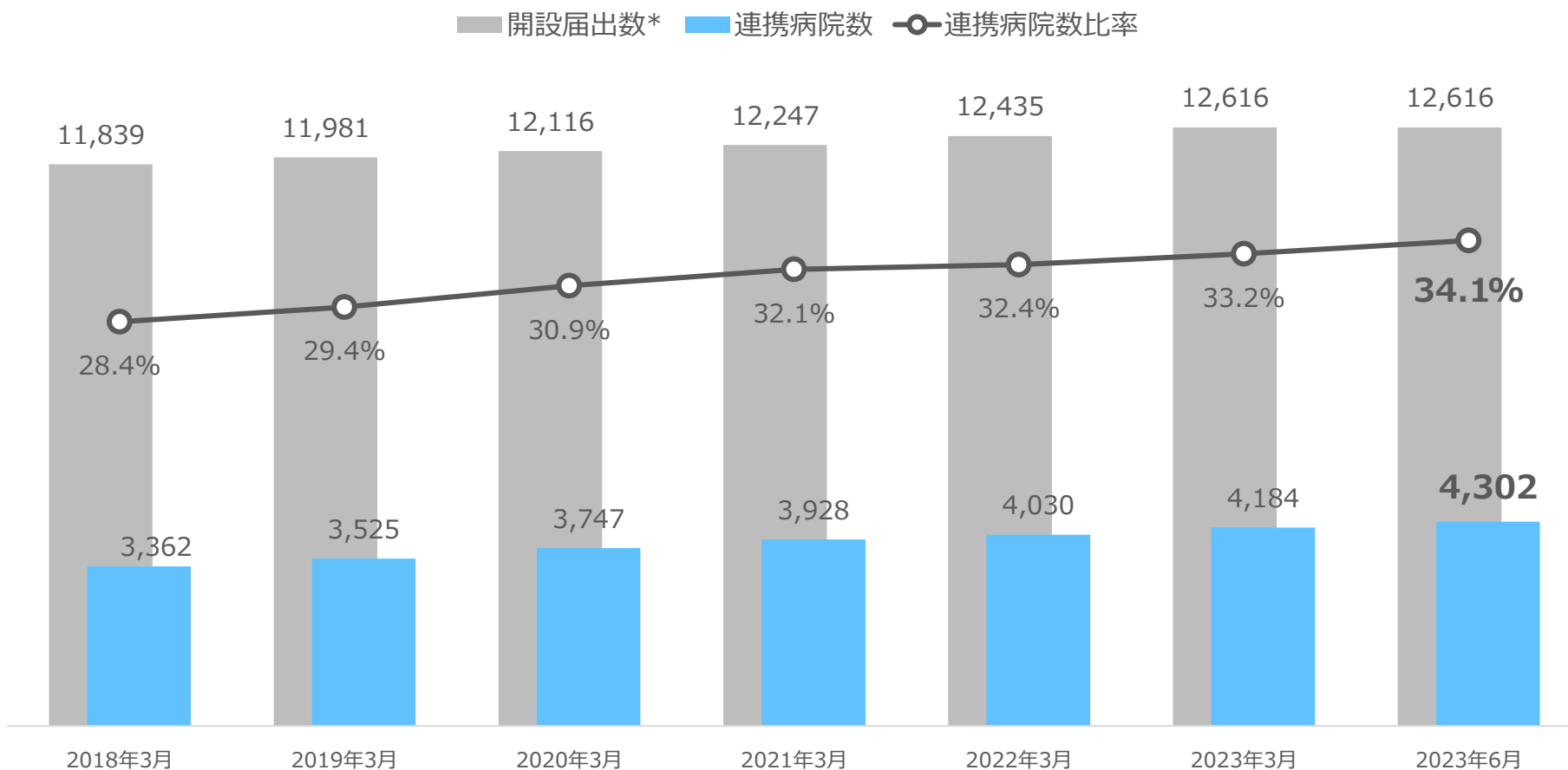
事業KPI：初診件数（紹介数）は微減

- 川崎放射線治療の一時停止、眼科の廃止、大阪病院準備への診療スタッフ投入により、初診件数は微減
- 大阪病院開院及び放射線治療再開に伴い第2四半期以降は回復見込み



連携病院数は、全国4,302施設に

- 2023年6月の連携病院数は足元3ヶ月で+118件（うち近畿地区+94件）と着実に増加。
- 連携病院数比率は34.1%に上昇



*開設届出数は農林水産省（令和4年12月末時点の小動物診療施設の件数）

- 新規のお客様獲得にむけて営業活動を実施

症例紹介の獲得活動

地域の動物病院への宣伝活動



- 院内セミナー・勉強会開催
- 施設見学会開催
- 症例の学会発表



症例紹介



当社紹介の理由

- ◆ 獣医師・スタッフの質が良い
- ◆ 医療設備が充実している
- ◆ 診断力・治療技術が高い
- ◆ 緊急時の受入れが迅速
- ◆ 診療結果の報告が丁寧
- ◆ 飼い主の満足度が高い

当社のValue 「私たちが提供する価値」

Value

専門性

臨床を中心としながらも症例研究を積極的に行い、つねに技術や知識の向上に努めることでより確実性の高い医療と、幅広い選択肢を提供します。

人間味

オーナーが抱く不安や苦しみをできる限り軽減させ、ここに預けてよかったと思っていただけるように、スタッフ一人ひとりが真心を込めた対応で寄り添います。

一体感

さまざまな専門性を持つ獣医師やスタッフが、かかりつけの獣医師とひとつのチームとなって連携しながら、ともに動物の命に向き合います。

365日、かかりつけ医のすぐそばにいる高度医療チーム

私たちは専門性と人間味を持ち、かかりつけ医と一体感あるチームとなって、安心と納得の医療を提供しつづけます。

今後は上記Valueをもとに、組織開発、サービス改善などを行っていく

ロゴのマイナーチェンジ

Before

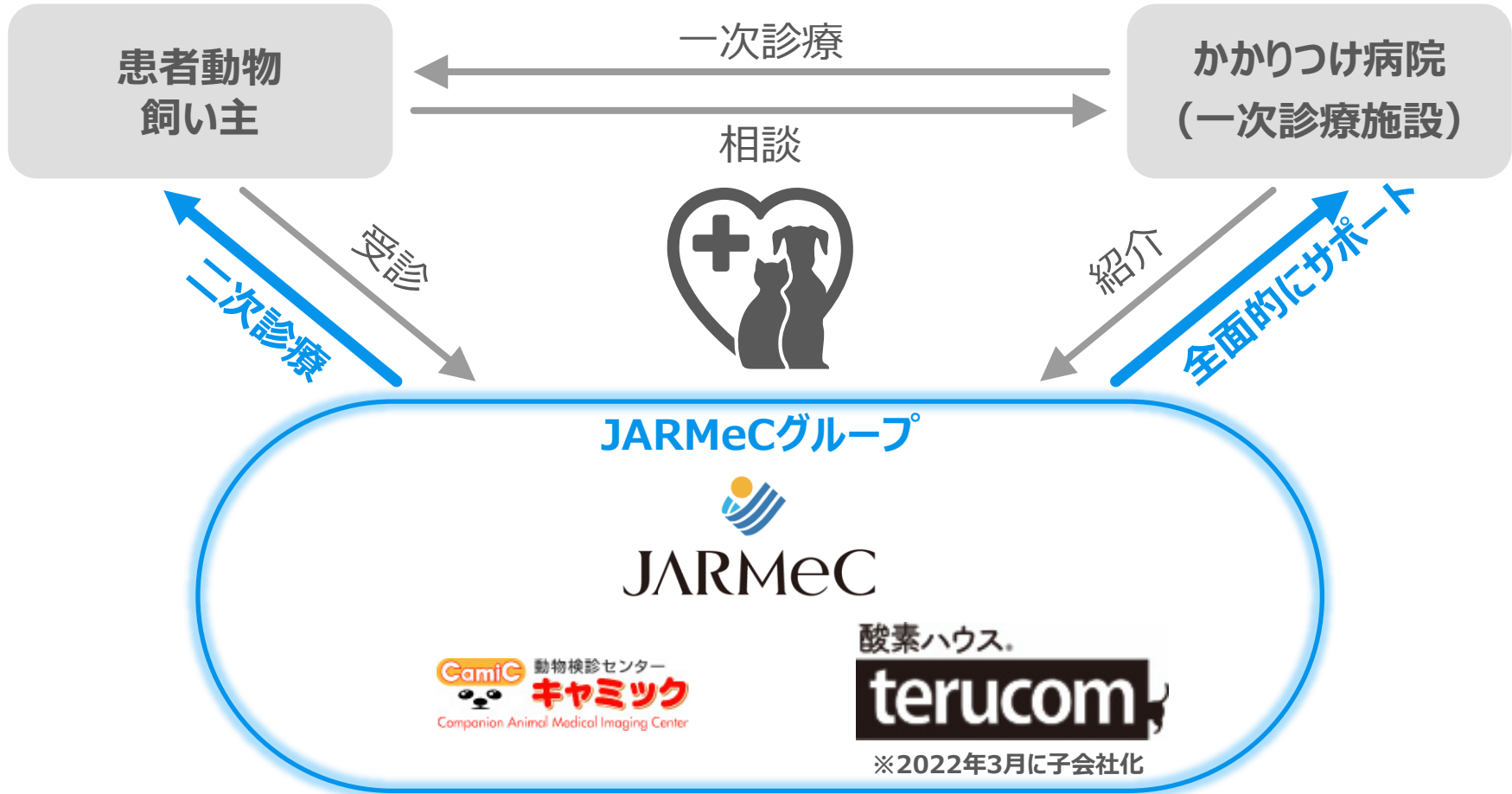


After



現代に合った視覚的表現で、JARMeCのブランディングを推進していく

当社のビジネスモデル



- ✓ 「ペットに家族と同じように高度な医療を受けさせたい」というニーズ
- ✓ 二次診療を中心とした事業により、一次診療施設を全面的にサポート

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本動物高度医療センター
管理部 企画課 IR担当
044-850-1320
e-mail : ir@jarmec.jp